

# 作品の評価

東京芸術大学名誉教授  
日本美術家連盟常任理事

中根 寛 氏



教育随想

美術の授業の結果、出来上がった作品の評価は他の教科に比べて客観的に数値化等出来ない。私も小・中・高・大学と四十数年美術の教師として過ごし、この状態と対峙して来た。

数年前、文科省の中央教育審議会に於て、義務教育の美術の授業時間が削減、更に全廃されるのではないかとという情報があった。私がボランティアとして参加している日本美術家連盟(会員約五千名)で、これは由々しい問題として、理事長の意見を新聞に掲載し、文科省の討論会に委員が参加したり、文科省の職員に講演を依頼したりするようなことが行われた。

その時の話では、美術の教科としての確立と評価の適正であった。両者は同一の問題である。美術は、明治五年学制公布以来教科として行わ

れている。他の教科と別領域のものとして、又それ故に他の教科と一緒に授業を行う意義があるものと思う。

最近、美術家連盟では機関誌等で義務教育の美術については、美術家からの発言を控えている。美術家の基礎教育と間違った印象を持たれるのではないかとという反省からである。医学、脳科学、心理学などの研究者から、人間の思考や行動の技能発達と美術の学習との関係を科学的に論ずる発言を期待している。

展覧会等の作品審査は、一見して総合的に判断している。しかし、授業の作品評価はその効果が多くの要素によって成り立ち、左右されるものであり、出来る限り分析して拾い上げて説明、指導する必要がある。教師は独りで行う場合が多く、中広くその力を持たなければならぬ。学



習意欲を左右し、才能を摘む危険もある。

美術は義務教育までの若い年代に行う重要な教科である。幼い日、制作に夢中になった楽しい教室の風景を思い出し、先生方の御恩を思う。

(なかね ひろし)



平成20年11月1日

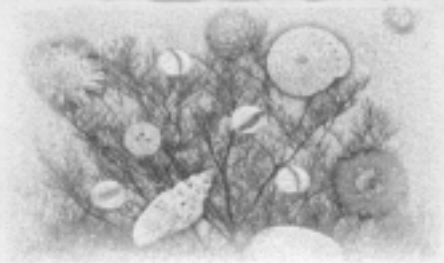
## 11月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

- 教育随想 ..... 中根 寛氏
- 東京芸術大学名誉教授  
日本美術家連盟常任理事
- この人に聞く ..... 米田 一幸氏
- 愛知県警察音楽隊長
- 羅針盤 ..... 高嶽 利行
- 算数・数学科指導員
- ふれあい ..... 川口 友子
- 六ツ美北部小 甲山中 ..... 若林 ゆり
- 特集 ..... 力量向上を目指して  
一教員の自主サークル活動一
- お知らせ ..... フォト・ヒストリー ... 時を刻んだ鐘 (昭和4年頃)
- この本を

## ふるさとシリーズ この人に聞く



### 響け心の音色 愛知県警察音楽隊長

米田 一幸 氏

「警察の仕事で拍手をもらえる仕事って、音楽隊と警察犬の公開訓練くらいなのですよ。うれしいですよ。」

そう言って、にっこりとほほえむ米田さん。愛知県警察音楽隊の隊長となられて三年目。現在、三十九名の隊員を率いて、年間に二〇〇回を超えるコンサートを行い、県内を巡回されている。

音楽との出逢いは小学生のとき。パレードで楽器を演奏しながら行進する人々を見て、その堂々とした姿に魅了された。五年生になると、校内で編成された鼓笛隊の一員となり、トランペットを担当した。これをきっかけとして、中学、高校、そして音楽大学とトランペットの技能を磨かれた。その後、「大好きな演

奏を続けながら、人を守る仕事をしたい」との思いから、愛知県警察に就職され、音楽隊員として活躍されることになった。

「音楽隊といっても、他の部署から異動命令を受けて隊員となることもあり。すべての隊員が音楽に携わってきたとは限りません。隊員同士の教え合いと個人練習によって、演奏が成り立っていくのです。」

その言葉からは、指導者として隊員に対する熱い思いが感じられた。「巡回コンサートの半分は、学校での演奏です。それは、現在犯罪検挙数の五十パーセントを青少年が占めているからです。私たちの演奏を通して、少しでも犯罪予防を訴えることができたかと考えています。」

と、力強く話された。「コンサートするとき、最も心がけていることは、子供たちに「こちらを向かせる」ことです。小学校ではアニメの主題歌や教科書に載っている鑑賞曲を、中学校では、パワフルでインパクトのある曲を演奏します。年齢や発達段階に即した曲を演奏することで、心を「こちらに向かせる」のです。そして、「こちらを向いた」そのタイミングでメッセージを送る



のです。小学生へは、事故に遭わないでほしいということ。中学生には、自分の行動に責任をもたなければならぬということを伝えます。」

その後も、熱のこもった話が続く。「悲しいことに、一度罪を犯した人は再犯に走ってしまうことが多いのです。だからこそ、幼いうちから犯罪は絶対にしてはならないのだということを伝えていきたいのです。」

子供たちの変化を尋ねると、次のようなお話をしてくださった。

「子供は変わっていません。登校する子供たちは、大きい子が小さい子の面倒を見ながら交通ルールを守って歩いていきます。その前を平気で信号無視をして渡っていく大人がいます。また、社会のルールを無視して、自分の主張だけを声高に訴える大人もいます。子供たちは、どんな気持ちで大人たちを見ているのでしょうか。そのような大人たちを見続けている大人が変わっていかなくてはならないのです。」

最後に、岡崎の子供たちへのメッセージをいただいた。

「まずは自分を大切にしてください。それができると、自然に周りの人のことも大切にできるようになります。そして、事故に遭わないでください。」

「パワーあふれる演奏とともに、子供たちを犯罪や事故から守ろうとする米田さんの熱い思いが心に響いた。」

氏名 米田 一幸  
生年月日 昭和三十三年七月十八日  
住所 岡崎市上屋町

### 授業力を伸ばす

算数・数学科指導員 高敏 利行



「はい、はい」。算数の苦手なA男が黒板に向かった。友達、参観しているすべての教員が固唾をのんで見守った。A男は、自分のひらめきをうれしそうに説明した。ほっと心に光を感じたのは、私だけではなかった。

B 小学校合同訪問、五年特別授業  
C 先生の算数科の授業の「こまである。小数のわり算の意味理解をはかる場面で、多様な考えを理解しようと、意見が意見と呼び、授業は深まりをみせた。C先生がこの日までかけてきた「教材にかける熱い気持ち」「子供一人一人にわかせたい気持ち」が形となり、子供だけではなく、参観した教師にも響き合う授業となった。

この授業を迎えるまで、たくさんの先生の支えがあった。訪問前日、多くの先生が立ち会い、時間をかけて模擬授業が行われた。発問の仕方、



## 自信を持たせたい

六ツ美北部小 川口 友子

三年生の国語で話す力・聞く力を育てるために、結論、理由の順に話したり、メモをとったりする学習を行った。

A子は、日ごろのスピーチでも理由の部分でつまってしまふことが多い子だった。「犬とねこのどちらが好きか」という問いに、犬が好きという結論に対して、「ねこはひっかくから」というねこが嫌いな理由を書いていた。そこで、理由の主語を「犬は」にすることを伝えると、「かわいいから」と書くのがやっとなった。結論と理由が一致し、A子が安心して発表できるように、海と山の絵の中にヒントを多く入れてやると、絵を参考に理由を書くことができた。

それを見て「理由が二つも書けているね。ちゃんと結論と一致しているね」と言いながら、頭をなでていくと、

大きな声で自信を持って発表することができた。自己評価が満点だったことも報告してきた。

その後、給食の時間にA子が「パンとごはんどちらが好きか」と聞いてきたので質問を返すと、「ごはんがすき。おかずを上にかけてもいいし、おにぎりもできるから」と元氣よく答えた。理由を言えずに困っていたA子の面影はなかった。



## 温かい目

甲山中 若林 ゆり

「今、それをする時間じゃないだろ、A男」。A男を注意する声は、毎日のように教室に響いていた。A男は一度読書を始めたり、掃除を始めたりすると、周りに目を向けることができなくなる。友達や私が注意しても、素直に聞き入れることができなかった。

そんなA男は、毎朝決まって私のところへ前の日にあったできごとを



話しに来る。内容は様々だが、弟のことを話すときは、とても温かい思いやりのある目になることに気づいた。

今のまま注意を続けていたら、その目から温かさがなくなってしまう。自分の行動について、落ち着いて考える時間があれば、毎日の生活の中でもその目を持ち続けていけるのではないか。そう思い、ある約束をした。「すぐに注意をしないで、二度目までは名前を呼ぶだけにしよう。だから、そのときに「何だろう」とって考えてね」と。それ以降、A男は名前を呼ばれると、自分が今していることについて考えるようになった。目を追うごとにA男は周りの様子を見て行動するようになった。

ある日、クラスの輪の中に自分から入れない友達を見つけたA男は、「二階に行こう」と声をかけた。あのかの温かい目だった。考えるきっかけを得たことで、A男の心が穏やかになったのだなと感じた。

提示する教材のタイミング、子供の考えに対する教師の出方など、他クラスでの実践を参考に話し合った。子供役にベテラン、中堅、若手がなり、経験をもとにした教師同士の学び合いの場にもなっていた。こうした姿は、指導案検討でも見られた。具体的な授業の姿が見えることによって、C先生は自分が何か必要かわかっていった。日ごろの授業においても質の高い授業に向け、職員間で真剣な交流があった。

「授業のことが話題になることが少ない」「子供のことが話題に出てこない」と、職員室での教師の会話に昔との違いを嘆く声を聞く。様々な仕事や事務処理があるのは事実だ。それでも、大切にすべきは子供を目の前にした授業である。

指導員訪問の度に、児童生徒だけではなく、教師の姿勢に感動することが大変多い。その背後には、必ず学年や教科、役職の先生の姿が存在する。このような姿を目ごろの授業で実践し、深めていきたい。互いに助け合い、支え合い、学び合う中で教師は成長する。そして、その成長は子供に必ず返っていく。だれもが、C先生のように子供を輝かせる力を秘めている。



▲ 大学教授を迎えての授業研究会 社会科自主サークル「セーリング」

子供たちの充実した学校生活の源は、授業の充実にある。そのためには、教師一人一人が日々自己研修を積み重ね、高い指導力と授業力を身に付けていかななくてはならない。個々の研修のほかに、自己研修を支える場の一つが自主的なサークル活動である。岡崎市では、各教科・領域の主任会が運営する数多くの自主サークル活動が行われている。

昭和三十一年に発足した算数・数学部の「読書会」は、講師を招聘した授業研究会を中心として、質の高い研修が五十年以上も継続されてきた。国語部の「さわらびの会」は、昭和四十年ごろ、当時の若手リーダーが有志を募って喫茶店に集い、うどんやコーヒースタンドをしながら教材研究を深めたのが始まりである。さらに近年、若手教師の育成を目指して新たに発足したサークル活動もある。

サークル活動は、参加者が持ち寄った様々な実践について論議を深め、授業の実践力を磨き合うことができる。また、大学教授や専門機関の講師から最新の情報を得て、幅広く指導法を学ぶことができるという点で、力量向上に大きな成果をあげている。さらに、教師間のコミュニケーションや親睦を図る場としても大切な役割を果たしている。反面、主な活動時間が勤務時間終了後であることから、日程の調整、会場や会員数の確保が難しいといった問題点もある。しかし、教科・領域指導員を中心とし、会の持ち方や研修内容が検討され、より充実したサークル活動の運営の仕方が模索されている。

今後も、若手教師をはじめ、多くの教師がサークル活動に参加し、一層の力量の向上が図られていくことを期待する。



▲ 大学教授を迎えての授業研究会（読書会 算数・数学部）



▲ 教材・教具の開発（技術科サークル 技術科）

様々な活動内容

# 活動の様子



中少年自然の家での野外活動  
講習(ORLCI四輪レクリ  
エーションリーダーズクラブ)



発達障害研修報告会(自  
主研修会 特別支援教  
育)



学習例会での教育実践研  
究(岡総研II岡崎総合的  
な学習研究会)



文学散歩(さわらびの会  
国語部)

## 各教科・領域のサークル一覧

教科領域	サークル名	おもな活動内容	創設年度	会員数
国語科	さわらびの会	授業実践の仕方・茶話会 教材分析・文学散歩	昭和 40	77
社会科	セーリング	講師を招いての授業実 践、単元開発の勉強会	平成 15	66
算数科 数学科	算数・数学教育研 究部(読書会)	教科書問題指導法検討・ 講師講話・授業検討	昭和 31	160
理 科	物理サークル	教材・教具の開発	昭和 48	29
	化学サークル	化学教材の開発・検討	昭和 48	30
	生物サークル	生物の観察・採集	昭和 48	20
	地学サークル	地学教材の開発・検討	昭和 48	6
	授業研究サークル	授業実践を基にした協議会	昭和 54	36
生活 総合	岡崎総合的な学習 研究会(岡総研)	授業分析・指導案の検 討・教育実践の情報交換	平成 15	40
音楽科	ジュリアフィーユ	合唱指導の研修	平成 11	20
	ジュニアプラス	吹奏楽指導の研修	平成 10	13
	ジュニアオーケストラ	管弦楽指導の研修	平成 12	10
	音楽授業サークル	授業研究会	平成 20	20
保健 体育科	岡崎市体育部 自主研修会	吾輩履の技術向上につ ながる指導法 講師講演会	平成 18	35
技術・ 家庭科	技術科サークル	教具作り・指導案検討	昭和 48	34
	家庭科サークル	授業研究会	昭和 48	35
英語科	授業研究部会	授業研究会	昭和 50	39
	リスニング研究会	リスニング教材の開発	昭和 55	17
	視聴覚研究部会	教材ビデオ制作	昭和 51	23
道徳	岡道楽の会(岡崎 の道徳を楽しむ会)	授業記録を基にした指 導方法の検討	平成 20	12
特別 活動	学級づくりサーク ル	グループごとの意見交換 講座ごとの研修	平成 20	150
特別 支援	自主研修会	教材・教具作り・講師講 話・事例研究会	昭和 55	20
野外 活動	岡崎レクリエーションラ ーグズクラブ(ORLCI)	少年自然の家での野外 活動指導	昭和 53	37
学校 保健	テーマ別グループ 研究	5テーマ11グループ での研究・不登校、発達 障害児のケース会議	昭和 57	76

※各サークルの会員数はおよその数のものもあります。

## 本年度発足した「学級づくりサークル」 <特別活動>



学級づくりに生かす  
合唱コンクールの指導  
講座



学級づくりに生かす  
レクリエーションの指  
導講座

豊富な経験に基づく具体的な手立てと指導方法を教  
えていただき、とても参考になりました。「具体的な指  
示を出す」「目標を作る」については、すぐに実践に生  
かしていきたいです。(講座参加者)

何よりも大切なことは雰囲気作りだと思います。この  
ゲームを自分のクラスでやったら大喜びだろうな、と  
想像しながらも、思わず私が一番夢中になってしまいま  
した。さっそく実践してみたいと思います。(講座参加者)

# お知らせ

## ●教育最新情報

○平成二十年度全国学力・学習状況調査結果からみた岡崎市児童生徒の概要

岡崎市は、昨年度に引き続き、今回の調査においても全体として、極めて高い成績を取っている。

### 1 調査分析概要

①全国的に小中学校で「活用」に弱点がある」とされる中で、本市の児童生徒は、バランスのよい力を身につけている。

②昨年度に比べ、全国的に「学習意欲が低下している」中、本市では大きな変化はなく、小学校児童の約90パーセント、中学校生徒の約80パーセントが、意欲を持って学習に取り組んでいる。

③「規範意識を持ち、生活環境が確立している児童生徒ほど、高い正答率を得ている」という全国的な傾向は、



本市でも同様である。特に、本市では、「朝食を毎日食べる」児童生徒の割合は高く、「朝食を毎日食べる」児童生徒の平均正答率は、「食べない」児童生徒を20〜30ポイント上回っている。

④本市においては、「就学援助を受ける児童生徒の割合の高い学校は、正答率が低い」という全国的な傾向は、小中学校ともに該当しない。

2 今後の岡崎市教育委員会の授業改善等の取組

①国語や算数・数学における基礎基本となる「知識」の力を一層伸ばしていくために、朝の帯時間や授業の充実、また、補充学習等で活用できる基礎学方向上教材を見直し、その内容の充実に努める。

②国語や算数・数学における「活用」の力を一層伸ばしていくために、今回の調査の詳細な分析をし、授業改善に活用できるように「指導事例集」等を作成する。

③今回の調査結果を基に、これまでの各学校における授業改善の成果と課題を洗い出し、それらを授業改善委員会や指導員会で検討・吟味を加え、新たな授業改善の具体的な施策について提示していく。

④主事訪問及び指導員訪問において、各学校における授業改善の取組状況を実際の授業場面で把握し、より具体的な方策について、指導・助言をしていく。

⑤家庭・地域と連携を図りながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていく。

各学校では、今回の調査の「成果と課題」を明確にして、授業改善に努めるとともに、その内容を保護者にも公開し、理解を得たい。

なお、詳細については、O Kリンクに掲載中である。

※お詫言と訂正  
 11月号「お知らせ」の中の「岡崎市立小学校の調査発表会の期日は、十一月十八日（土）の誤りでした。誤りをお詫言申し上げます。訂正いたします。

## ●ハートピアだより

### ○学校復帰を目指して

ハートピアの二学期は学校の始業式から二週間遅れでスタートした。その理由は、少しでも通所生が学校復帰できることを目指したからである。昨年度までは一週間遅れのスタートであった。しかし、一週間という短い期間であったため、その間、夕方登校ができた通所生も、ハートピアが始まると同時に学校へ登校することが少なくなってきた。ハートピアでは、もう少し支援する日にちがあれば、学校に登校することが定着するのではないかと反省があった。そこで、本年度は更に一週間延ばし、ハートピアの始業式を二週間遅れとした。

小学六年生のA子は、通所を始めて一年近くが経つ。一学期は学校の担任とハートピアの指導員、本人との話し合いで一週間に二日、午後から登校することにした。クラスの子が下校した後や給食の時間に定期的に学校へ行くことができるようになった。二学期が始まり、ハートピアは二週間後から始まるということ、指導員が付き添って学校の始業式から登校を始めた。その後、午後からはあるが、毎日登校できるようになり、ハートピアが始まってからも登校は続いている。

一学期は、毎日のように通所していた中学生のB男も二学期からはハートピアへ一日も通所することなく、学校へ毎日登校するようになった。夏休みの出校日も登校したということである。これも担当の指導員が担任と連携を図りながら夏休み中から電話連絡等で支援し、学校の二学期の始業式も出席できたことがきっかけとなって復帰できたと考えられる。

ハートピアでは、学校復帰を第一と考え支援にあたっている。今後も、復帰への方策を探っていききたい。



●表彰

- ◆全国自作視聴覚教材コンクール  
文部科学大臣賞（最優秀賞）  
・「自然が育てるおいしいお茶  
―宮崎茶のこだわり―」  
入選
- ・「パン工場ではたらく人びと」  
準いずれも市自作教材制作委員会
- ◆和道会全国空手道競技大会  
組み手 小学生三年の部  
三位 矢作東小三年 山下 大智
- ◆NHK全国音楽コンクール  
東海・北陸ブロック  
銅賞 南中学校
- ◆愛知県小学校バンドフェスティバル  
金賞 竜美丘小学校
- ◆子どもに ゆうめい作文コンクール  
小学校高学年の部  
優秀賞 矢作東小六年 村山明日香
- ◆ジュニアオリンピック愛知県大会  
円盤投げ 女子  
第一位 岩津中三年 向坂 詩穂  
B走幅跳 女子  
第一位 城北中二年 浅井 真子  
走幅跳 女子  
第一位 南中二年 鈴木麻莉華
- ◆FBC秋花壇コンクール  
東海ラジオ賞 細川小学校  
名古屋鉄道賞 上地小学校
- ◆FBC学校花壇設計図コンクール  
中日新聞社賞 根石小学校
- ◆愛知県学校緑化コンクール  
学校関係緑化の部  
特選 愛知県緑化推進委員会会長賞  
小豆坂小学校  
入選 愛知県教育委員会賞  
常盤東小学校

◆第41回岡崎中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	2位	3位	3位
陸上競技	男女	六ッ美北	南	美	川
バスケットボール	男女	美	川	電	海
バレーボール	男女	美	川	北	六ッ美北
ソフトテニス	男女	河	合	矢	作
卓球	男女	河	合	矢	作
体泳	男女	東	海	南	矢
新体操	女	電	海	南	矢
剣道	男女	矢	作	北	甲
ハンドボール	男女	六ッ美北	美	川	南
軟式野球	男	六ッ美北	美	新	香
ソフトボール	女	北	矢	作	北
柔道	男女	甲	山	六ッ美北	電
サッカー	男女	矢	作	北	電
水泳	男女	電	海	北	福

第47回岡崎市小学校陸上競技大会

(個人種目1位のみ) ★印は大会新記録 会場：県営岡崎総合運動場

男子	氏名	校名	記録	女子	氏名	校名	記録				
5年100m	塩崎 陽也	緑丘	13'8	5年100m	牛越 智子	六名	14'3				
6年100m	浅見 駿弥	形 楚	12'9	6年100m	古賀 美月	大門	13'8				
80mH	近藤 雅哉	男 川	★12'7	80mH	関 七海	連尺	★13'8				
1000m	福業 康太	井 田	30'3	1000m	中根 千明	矢作南	3'10'4				
400m R	太田・鈴木	矢作南	54'5	400m R	北村・日高	矢作南	57'3				
	山野・黒木				宮崎・鈴木						
	1位				2位			3位	1位	2位	3位
	矢作南				井 田			福 岡	矢作南	連尺	六美西部
走り幅跳び	岩橋 功樹	井 田	4m60	走り幅跳び	宮崎 映奈	矢作南	4m03				
走り高跳び	三石 直輝	男 川	1m40	走り高跳び	太田実日子	山 中	1m30				
77mH	鈴木 裕敏	竜美丘	77m55	77mH	中内 真悠	六名	51m04				
総合	1位	2位	3位	総合	1位	2位	3位				
	井 田	男 川	矢作南		矢作南	六名	大門				

●水泳競技の部

★印は大会新記録

種目	男 子			女 子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
50m自由形	小嶋 章太	岩津	28'83	大河内瑠穂	美 川	30'20
100m自由形	菅原 勇希	電 海	1'03'49	今井 佳純	北	1'06'56
200m自由形	四ッ谷 裕亮	六ッ美北	2'14'22	大岩 奏	美 川	2'23'02
50m平泳ぎ	藤合 郁文	新香山	36'10	谷 聖澄	矢作北	★38'51
100m平泳ぎ	黒柳 雄	城北	1'13'35	野沢 好	矢作北	1'22'70
50mバタフライ	倉田 悟輝	矢作北	30'08	高山 千絵	新香山	★31'57
100mバタフライ	岩本 力也	矢作北	1'07'83	山本 悠	甲 山	1'10'14
50m背泳ぎ	小坂 雄太	矢作北	32'18	佐々木麻衣	北	34'49
100m背泳ぎ	石井 大貴	矢作北	1'09'38	中嶋 友美	矢作北	★1'06'41
200m個人メドレー	藤原 俊典	矢 作	2'26'09	武藤 優紀	城北	2'43'53
400mリレー	岩本・小坂	矢作北	4'11'36	中嶋・谷	矢作北	4'28'42
400mメドレーリレー	石井・小坂	矢作北	4'33'70	尾崎・青山	甲 山	5'00'62
団体成績	優勝	2位	3位	優勝	2位	3位
	矢作北	電 海	北	電 海	美 川	北

●陸上競技の部

★印は大会新記録

種目	男 子			女 子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
100m	青木 啓太	六ッ美北	★11'5			
200m	中川 裕也	六ッ美	24'4			
400m	本庄 一希	美 川	55'5			
800m	近藤 一希	美 川	2'13'4			
1年1500m	西山 令	美	4'34'3			
3000m	本田 元樹	六ッ美北	9'32'7			
110mH	五島 大輝	福 岡	16'7			
400m R	葛谷・吉田	六ッ美北	★47'9			
	中根・青木					
走り幅跳び	二宮 聖史	甲 山	6m02			
走り高跳び	内山雄次郎	南	1m55			
砲丸投げ	原井 優作	美	★9m82			
棒高跳び	高田 凌	矢作北	3m10			
100m	山田めぐみ	電 南	13'3			
200m	浅井 真子	城北	27'3			
1年800m	神藤 佳苗	東 海	2'27'0			
800m	天野 可奈	南	2'28'8			
1500m	杉浦 貴志	電 海	4'54'0			
100mH	飯田 実佳	城北	16'1			
400m R	市岡・山田	電 南	53'5			
	江崎・石川					
走り幅跳び	浅井 真子	城北	5m24			
走り高跳び	杉浦 貴志	福 岡	1m45			
砲丸投げ	中根 有那	六ッ美	9m90			

●体操競技

女子	氏名	校名
個人総合	小栗 奈穂	東 海
床運動	小栗 奈穂	東 海
平均台	小栗 奈穂	東 海
跳び箱	角屋 琴絵	南

●弓道

男子	氏名	校名
	近藤 辰哉	福 岡
女子	氏名	校名
	浅野いづみ	福 岡

●柔道

男子	氏名	校名	女子	氏名	校名
軽量級	安達 直輝	電 海	軽量級	岩月みなみ	矢作北
軽中級	三城 広大	甲 山	軽中級	朝瀬 結子	電 南
中量級	吉光 瑛亮	矢作北	中量級	長野真奈香	六ッ美北
重量級	岡田 隼斗	六ッ美北			

・カ  
ッ  
ト  
羽根小 稲垣保幸

## 時を刻んだ鐘 (昭和4年頃)

写真提供：夏山小学校

今でこそ鐘は使われていないが、校舎二  
代に渡って今でも子供たちを見守っている。  
戦時体制が強まり、多くの学校で金属類  
を供出することになった後も運よく残った。  
そんな時代を感じさせる貴重なものが、  
今でも各学校には残されている。

夏山小学校の玄関を入ると、すぐに目に  
入ってくるのがこの鐘である。うしろに厚  
い木の板に書かれた説明がある。

この鐘は上の旧校舎(約七十年前)  
で使われていたものです。職員室のろ  
う下につるしてあり、木づちでたたいて  
て時を知らせました。

喜びや笑いや悲しみをみんな知って  
います。何百人もの生徒が果立ってい  
くのを見守っていました。

# フォトヒストリー

岡崎の教育



# この本を

- \*学級づくりの力をきたえる 前田 勝洋也  
黎明書房 ￥2,100
  - \*悩む力 姜 尚中  
集英社 ￥714
  - \*虎屋ブランド物語 一川島蓉子  
東洋経済新報社 ￥1,680
  - \*経営問答塾 健山秀三郎  
致知出版社 ￥1,575
  - \*脳を活かす勉強法 茂木健一郎  
PHP研究所 ￥1,100
- 「入学当初の僕はできない子だった」の見出しは、脳科学者という雲の上の存在に一気に親近感を覚えさせることとなる。秀才がどうやってでき上がっていったのか、興味を引かれる。
- 脳はできることをやっても喜ばないが、できそうもないことをクリアすると大きな喜びを感じるという。子供の脳に喜びの回路のスイッチを入れるか否かが、我々教師の腕の見せどころか。
- 本宿小 白井 直美

「奥山に紅葉ふみわけ鳴く鹿の声さくときぞ  
秋は悲しき」猿丸大夫が詠んだ短歌。修学旅行  
シーズン到来。「悲しき」とまではいえないま  
でも、国宝よりも晩とのふれあいに夢中になる  
子供たちの姿は、なんとも言えずほほえましい  
ものである。古都の秋の美しさを子  
供たちと感じてきたい。

## シ オ ス ア

真剣な眼差しで演技する子ら。学  
芸会は子供と教師、また親にとつて  
も真剣勝負の行事である。開始のブザー、スポ  
ット。緊張のなかでの演技・演奏。その一瞬一  
瞬に全力を傾ける。「先生、大きな声で言えた  
よ」「見ている人が泣いているのがわかったよ」  
閉幕後の子供の満足げな顔を今年も見たい。

明日の岡崎を託す市長選挙・市議会議員選挙  
が終わった。小さな、しかし重要な参政権を改め  
て実感する。アメリカ大統領選挙も、まもなく決  
着する。明日の日本を託す衆議院議員選挙もうわ  
さされている。地方自治から国際政治まで貫く  
「民主主義」を学ぶ貴重な機会。子供  
たちにはどんな言葉で伝えようか。

寸刻を惜しんで授業構想について  
議論を交わし、そして講師の講話に  
じっと耳を傾ける姿。勤務を終え、部活動を終  
えてサークルに集まってくる教師たち。「明日  
の授業に生かせる技術を」と学ぶその姿勢に、  
教師としての気概が感じられる。いつまでも、  
自ら学ぶことを忘れない教師でありたい。























